

クラブ
訪問
77

「仲良く、楽しく、一生懸命練習しよう！」
下総ファイターズ

市民の
ひろば

10
October



キャプテンの堀越選手
「野球が大好きなので、中学でも野球部に入って今の仲間たちと練習を続けていきたいです」

ほくたち下総ファイターズは、下総地区の小学生22人の野球チームで、毎週日曜日に下総運動公園の野球場か高岡小学校のグラウンドで練習しています。

チームのメンバーは、下総地区にある4つの小学校から集まっています。違う学校に通っているチームメイトとは練習のときにしか会えないので、みんな日曜日の練習をとっても楽しみにしています。

練習には監督やコーチのほかに、大学や高校の野球部で活躍する下総ファイターズのOBが参加し、野球を教えられることもあります。厳しい声で注意されることもあります。監督たちに教わったことを意識して上手くプレーができたときはとてもうれしく、野球の楽しさを実感できます。



こぼれたボールは素早くフォロー

練習で特に大事なことは、全員が大きな声でボールを回すポジションなどを確認し合い、チームメイト同士の連携を強くすることです。そのため、練習前には必ず全員で掛け声を出し合い、グラウンドの広さに負けない大きな声が出せるよう、自分自身に気合いを入れていきます。

今後はひとつでも多くの試合で勝利できるように、守備面での連携プレーや、バッティングの強化を図り、ピッチを迎えてもみんなで作っていきけるような協働性のあるチームを目指していきたいと思っています。



声を出し合っの守備練習



創作粘土 ダーリングドール加良部 生き生きとした姿を 表現したい

わたしたちは、第1・3木曜日に公津公民館で創作粘土を習っているサークルです。永島光子先生の指導の下、主に人形を中心に制作していますが、花やブローチ、花瓶など「作ってみたい」ものには何にでも挑戦しています。

材料に使う粘土は、硬さの順に石粘土、石粉粘土、紙粘土の3種類。それぞれ特性があ



公民館まつりに出品します。ぜひ見に来てくださいね

作品「貴婦人」(左)と「一休み」(下)



り、最も硬い石粘土は、水を使えない、乾燥が早いなど扱いが難しい反面、薄く延ばすと絹のような滑らかさが生まれるので、人形の衣類などを表現するのに適しています。紙粘土は軽くて柔らかいのが特徴。水に馴染みやすく自在に形作ることができるので、人形の本体部分を作るのに最適です。

創作中は、自分なりのイメージを持ち続けるように、そして細かいところまで手を抜かないようにしています。時間を掛け、こだわりを持った作品は、とても粘土でできているとは思えないほど生き生きとした姿に。中には「これは粘土じゃないよね」と人形の服をめくろうとしてしまう人もいますよ。

作品は、虫やカビ、日差しにも強くて長持ちします。仮に割れてしまったら修復することも。いつまでも変わらぬ姿で飾っておけるのは何よりうれしいですね。

ペット大好き

112



寺澤 かね子さん(飯田町)
チャッピー(オス)

レンズを向けられても動じない、おとなしいチャッピー。わが家で飼うことになった初めてのワンちゃんなので、大切に育てています。家では音の出る犬用のおもちゃで遊ぶのが大好きなんですよ。



武藤 優ちゃん(公津の社)

こんにちは赤ちゃん

131



増永 泰士ちゃん(美郷台)

スクスクのびのび

336

小島 藤五くん(4歳)三里塚
暖生くん(2歳)

虫が大好き！おばあちゃんの家に行ったとき、たくさん虫を採ったり見たりしたのがすごく楽しかったよ。大きくなったら生物の先生になりたい。いつか世界中の虫を採りに行ってみたいな。

